

General Information

江角学びの交流センター活動報告

平成24年度活動報告

江角学びの交流センター

1 地域人間科学研究所

平成24年度は恒例の文化講演会企画として、下記のとおりシンポジウムを開催した。ご来場いただいた皆様をはじめ、本企画のために周到な準備をしていただいた発表者の皆様にまずは心より御礼申し上げたい。また、ご支援ご協力いただいた関係諸機関ならびに企画から運営までの事細かな任を務めてくれた当センター所員各位に感謝申し上げる次第である。

シンポジウム「鹿児島未来遺産―自然・歴史・文化―」

主催：鹿児島純心女子短期大学

主管：江角学びの交流センター・地域人間科学研究所

後援：鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会 南日本新聞社 NH

K鹿児島放送局 MBC南日本放送 KYT鹿児島読売テレビ

KKB鹿児島放送 KTS鹿児島テレビ エフエム鹿児島

日時：平成24年7月21日（土）13：30～16：50

会場：本学大講義室（入場無料）

対象：本学学生およびその家族・学園教職員・一般

入場者数：約150名

主旨：

九州新幹線全線開通を機に、観光都市鹿児島の街づくりの新しい展望が開かれた。鹿児島の持つ自然・歴史遺産を武器にして魅力ある観光地を目指そうという気運が高まってきた。他方、自然環境保全、歴史遺産保存の問題など、私たち自身が郷土の抱える問題についてあまりよく知らない現状がある。本企画によって、将来にわたって継承すべき鹿児島

平成24年度活動報告

の自然・歴史・文化遺産の問題点を掘り起こし、今後の郷土の発展や、街づくりに役立てていきたい。

また、本学では「地域と結ぶ人間教育プログラム」の一環として、総合人間科目「かごしま学」を開講している。その講師を務めた碩学の先生方を招聘し、郷土鹿児島の魅力とその保存・継承の問題について議論していただく。提題発表の後、「どう活かす、鹿児島の未来遺産」と題し、郷土鹿児島のもつ未来遺産の魅力とその保存（保護）・継承の問題について提題発表者および特定質問者5名によるパネルディスカッションを行う。そこでは適宜、フロアーからの質問も取り上げて議論を盛り上げていきたい。

実施状況：

総合司会 塚田まゆみ（本学教授・当センター次長）

○開会の辞（13：30～13：40）

平山久美子（本学学長）

○第一部 提題発表（13：40～15：10）

・寺田仁志氏（鹿児島県立埋蔵文化財センター所長）

演題「黒潮、火山、人によって多様化した南北600kmのみどり」

・松尾千歳氏（尚古集成館副館長）

演題「海洋国家薩摩—異国情緒あふれる薩摩の文化—」

・小川学夫氏（鹿児島純心女子短期大学名誉教授）

演題「奄美の島唄を通して見た生きた文化の伝承」

〈休憩（15分）フロアーからの質問状を回収〉

○第二部 パネルディスカッション（15：25～16：40）

テーマ：どう活かす、鹿児島の未来遺産

登壇者（パネリスト）

・提題発表者

想林第4号

寺田仁志氏（鹿児島県立埋蔵文化財センター所長）

松尾千歳氏（尚古集成館副館長）

小川学夫氏（鹿児島純心女子短期大学名誉教授）

・特定質問者

古木圭介氏（肥薩おれんじ鉄道株式会社社長・鹿児島純心女子学園理事）

小島摩文氏（鹿児島純心女子大学教授・同附属博物館館長）

司会

河野一典（本学教授・当センター長・地域人間科学研究所所長）

○閉会の辞（16：40～16：50）

三浦嘉久（本学副学長）

会場の様子：



提題発表



パネルディスカッション



寺田仁志氏



松尾千歳氏



小川学夫氏



古木圭介氏



小島摩文氏

お陰をもってシンポジウムは成功裡に閉幕した。その成果を本誌『想林』第4号に特集「鹿児島未来遺産」としてお届けすることになった。当日来られなかった読者にも広くその模様を伝えることができれば幸いである。

2 生涯学習支援室

例年通りの講座内容・講座数で、「純心市民講座」を開講することができた。(表1参照)受講者数(定員充足率)にはもどかしさを感じるものの、生涯学習の視点で地域貢献に努めることを大学の使命として肝に銘じ、継続は力なりの精神で今後とも正直に邁進する所存である。講師を務めた先生方はもとより、受講された皆様に敬意とともに感謝申し上げる次第である。

4年目を迎えた共修講座(本学の正規授業を一般にも公開する講座)は、平日の昼間という時間帯にもかかわらず、少ないながら受講生が定着してきた。社会人の学びなおしやシルバー世代の向学心に応えられるような開講科目を常に検討し、さらなる拡充に努めたい。一般の受講生が本学の学生とともに学ぶことは、相互に良い刺激を与えていることが顕著に現れている。同様に「はじめての英会話」や「親子でクッキング」等の料理講座には、多くの学生ボランティアがアシスタントとして運営に携わっている。学生たちにとっては専門教育の実践的な教習の役割を果たすとともに、学生の社会的活動を支援し、将来の生涯学習者を養成するという点でも意義深いものである。

純心市民講座が本学内部の教育・研究機能を活性化するとともに、市民の学習支援に寄与し、本学と地域社会との共生の橋渡しを創出するこ

想林第4号

とを切に願う次第である。

表1 平成24年度純心市民講座実施状況

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
共 修 講 座 (一般教養)	かごしま学 前期 木曜 14時50分～16時20分 ※フィールドワークは土 曜日 (全15回)	1	4/12	中野 翠	一般成人	10名	2名	本学2号館 308教室
		2	4/19	中野 翠				
		3	4/26	中野 翠				
		4	5/10	中野 翠				
		5	5/17	橋村 健一				
		6	5/24	橋村 健一				
		7	6/14	伊集院久信				
		8	6/21	伊集院久信				
		9	6/28	伊集院久信				
		10	7/5	伊集院久信				
		11	7/12	小川 学夫				
		12	7/19	小川 学夫				
		13	7/26	小川 学夫				
		14	※6/2(土)	河野 一典				
		15	※6/30(土)	河野 一典				
	生命と環境 (全15回)	前期 月曜 10時40分～ 12時10分		櫻井 真	一般成人	10名	0名	本学2号館 409教室
	哲学Ⅰ (全15回)	前期 月曜 10時40分～ 12時10分		河野 一典	一般成人	10名	0名	本学10号館 307教室
	哲学Ⅱ (全15回)	後期 月曜 10時40分～ 12時10分		河野 一典	一般成人	10名	0名	本学10号館 307教室
	陶芸Ⅱ (全15回)	前期 月曜 13時10分～ 16時20分		高田さとこ	「陶芸Ⅰ」 を受講済みの 一般成人	5名	2名	本学陶芸室 27号館602 教室
	人間学 (全15回)	後期 月曜 13時10分～ 16時20分		河野 一典	一般成人	10名	2名	本学2号館 409教室
人 間 大 学 (現代的課題)	現代を生きる知恵 土曜 14～16時 (全6回)	1	7/7	河野 一典	一般の方	20名	51名	かごしま県 民交流セン ター
		2	7/14	佐々木 亘				
		3	7/28	奥村 和滋				
		4	9/15	佐々木 亘				
		5	9/29	河野 一典				
		6	10/13	奥村 和滋				
外国語講座	英会話 中級 (春季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	5/22	Alia Pugh	15歳以上の 方	10名	8名	鴨池公民館 (第1研修室 A)
		2	5/29					
		3	6/5					
		4	6/12					
		5	6/19					
		6	6/26					
		7	7/3					
		8	7/10					
		9	7/17					
		10	7/24					

平成24年度活動報告

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
外国語講座	英会話 上級 (春季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	5/22	Sonya Govey	18歳以上の方	10名	7名	鴨池公民館 (第1研修室B)
		2	5/29					
		3	6/5					
		4	6/12					
		5	6/19					
		6	6/26					
		7	7/3					
		8	7/10					
		9	7/17					
		10	7/24					
	英会話 初級 (秋季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/26	Jenna Lenz	15歳以上の方	10名	4名	鴨池公民館 (第1研修室A)
		2	10/3					
		3	10/10					
		4	10/17					
		5	10/24					
		6	10/31					
		7	11/7					
		8	11/14					
		9	11/21					
		10	11/28					
	英会話 中級 (秋季) 水曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/25	Alia Pugh	15歳以上の方	10名	10名	鴨池公民館 (第1研修室A)
		2	10/2					
		3	10/9					
		4	10/16					
		5	10/23					
		6	10/30					
		7	11/6					
		8	11/13					
		9	11/20					
		10	11/27					
	英会話 上級 (秋季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/25	Sonya Govey	18歳以上の方	10名	6名	鴨池公民館 (第1研修室B)
		2	10/2					
		3	10/9					
		4	10/16					
		5	10/23					
		6	10/30					
		7	11/6					
		8	11/13					
		9	11/20					
		10	11/27					
	はじめての英会話 (幼児コース・春季) ①4歳児コース 土曜 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	6/16	John Tremarco	就学前の児童 (4～6歳)	①10名 ②12名	①6名 ②12名	本学江角学びの交流センタープレイルーム または27号館318教室
		2	6/23					
		3	6/30					
		4	7/7					
		5	7/14					
		6	7/21					
	はじめての英会話 (幼児コース・秋季) ①4歳児コース 土曜 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	10/6	John Tremarco	就学前の児童 (4～6歳)	①10名 ②12名	①5名 ②11名	本学江角学びの交流センタープレイルーム または27号館318教室
		2	10/13					
		3	10/20					
		4	11/10					
		5	11/17					
		6	11/24					

想林第4号

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場	
外国語講座	はじめての英会話（小学生コース・春季） ①初心者コース 土曜 9時～9時50分 ②発展コース 土曜 10時～10時50分 （各コース 全6回）	1	6/16	Alia Pugh	小学生	①15名 ②15名	①15名 ②6名	本学10号館 401教室	
		2	6/23						
		3	6/30						
		4	7/7						
		5	7/14						
		6	7/21						
	はじめての英会話（小学生コース・秋季） ①初心者コース 土曜 9時～9時50分 ②発展コース 土曜 10時～10時50分 （各コース 全6回）	1	10/6				①12名 ②5名		
		2	10/13						
		3	10/20						
		4	11/10						
		5	11/17						
		6	11/24						
生活学講座 （調理）	親子でクッキング 10時～13時	1	8/8 （水）	大富あき子 大富 潤	小学生の親子	15組 40名	12組 29名	本学調理室 （1号館101教室）	
	アンチエイジング料理 10時～13時	1	11/10 （土）	大山 典子	一般成人	20名	6名	本学調理室 （1号館101教室）	

（文責 河野一典）

3 こどもの未来支援室

子育て支援の一環として地域社会への貢献、ならびに、学生の主体的活動による体験を重視し、即戦力となり得る保育者の養成を目指して、「こどもの未来支援室」の催しとして、以下の活動を行った（表2参照）。

表2 純心こども講座実施状況

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数		会場
純心こども講座	リズムあそび 午前10時30分～ 午前11時30分	1	5/12	吉留 早木子	就 学 前 の 幼 児 （ 二 ～ 六 歳 と 保 護 者	50組	15名	9組	本学 体育館
		2	6/16				39名	26組	
		3	7/7				27名	21組	
		4	8/4				32名	23組	
	いろとあそぼう・ かたちとあそぼう 午前10時30分～ 午前11時30分	1	5/19	柳井谷 夏絵		20組	14名	9組	本学 プレイルーム
		2	6/23				21名	13組	
		3	7/14				20名	11組	
		4	9/29				15名	9組	
	親子のお楽しみク リスマス会 午前10時～午前11 時30分	1	12/1	学生及び 江角学び の交流セ ンタース タッフ	50組	34名	25組	本学音楽室 (27-606)	

（1）純心こども講座

—専門教育科目「こども学フィールドワークⅡ」の発展—

平成24年度活動報告

○リズムあそび

会場：本学体育館

○いろとあそぼう・かたちとあそぼう

会場：江角学びの交流センター こどもの未来支援室プレイルーム

(2) 親子のおたのしみクリスマス会

参加者内訳：親子25組（子ども34名）

○準備および当日までボランティアとして関わった学生 87名（内訳 2年生：24名，1年生：63名）

- ・全体の企画・運営…………… 1年生
- ・会場の設営，片付け………… ♫
- ・司会・進行…………… ♫
- ・あいさつ
- ・こどもバンドの演奏
- ・プレゼントの準備
- ・おたのしみタイム
- ・セレモニーの準備 等

実施概要

プログラム	内 容
1 はじめのことば	
2 クリスマスについてのセレモニー	・学生によるクリスマスについての説明と小演劇
3 おたのしみタイム ○手遊び，指遊び ○製作	・アドヴェント・クリスマス克蘭ツ ・手作りサンタ作り
4 こどもバンドの演奏 「赤鼻のトナカイ」 「あわてんぼうのサンタクロース」 「ママがサンタにキスをした」 「サンタが街にやってくる」	・トーンチャイム，楽器を使った遊び
5 サンタさんからのプレゼント	・サンタさんからのプレゼント
6 おわりのことば (保護者の方へのアンケート配布および回収)	



おわりに

「こどもの未来支援室」事業の活動の一つである「純心こども講座」における企画・運営を担っている「生活学科こども学専攻」は、保育士や幼稚園教諭など、特に、乳幼児期の子どもとかかわる保育の専門家・保育者養成の専攻である。これからの保育者には、子どもに対する支援のみでなく、その保護者・地域の子育て支援にもかかわることのできる知見が求められている。しかし、対子どもでさえ、今どきの若者は小さい子どもとかかわる経験をしていない、かかわったとしても非常に希薄な経験に過ぎない等が指摘されている現状がある。

そこで、本学では、より多くの子どもや親子に実際に触れ合う機会を創出し、子どもの成長のためにはどのような支援ができるのかを経験から学んでほしい、そして、卒業後はそれぞれの保育現場で即戦力となり得る保育者になれるように養成したいという願いのもとに、本講座を開設している。学生自らが企画立案するとともに、自分たちで準備・運営するという体験重視の実践的な学習の展開となっている。本学に入学して1年目に「リズムあそび」と「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の二つの活動体験をして、その礎が養成できてきているのではないかと嬉しく感じているところである。

平成24年度活動報告

今後は、保育現場で就労されている本学の卒業生をはじめ、保育現場で活躍されている方々に対して、リカレント教育機関として支援できる体制の構築も進めていく必要を感じているところである。本学の建学の精神「聖母マリアのように、神様にも人にも喜ばれる女性の育成」に則り、専門性・人間性や社会性の向上といった総合的な人間力の向上を図って精進しようとする保育者を養成し、高等教育機関としての使命を果たしていきたい。

この事業の推進にあたって労をいとわず学生指導等に携わっていただいた本学生活学科こども学専攻のスタッフ、ならびに、吉留早木子先生、柳井谷夏絵先生、本学事務職員の皆様に心から感謝申し上げる次第である。

(文責 塚田まゆみ)